

大阪成蹊大学 卒業時アンケート2021（本学での学修・学生生活について）

2022/5/12

【回答選択肢】 A.そう思う／B.ややそう思う／C.あまりそう思わない／D.そう思わない

1. 本学での学びをととして、あなた自身の成長を実感することができましたか？
2. 本学の教育方針や教育内容は、満足できるものでしたか？
3. これからの人生において役立つことを、本学で学べましたか？
4. 本学での学修において、教員・職員からの指導やサポートは満足できるものでしたか？
5. 就職や卒業後の進路選択において、本学のサポート体制は満足できるものでしたか？
6. 本学に入学して、良かったと思いますか？

	1.成長実感					2.教育満足					3.学びの役立ち度					4.教職員サポート満足度					5.就職サポート満足度					6.入学満足度				
	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計					
経営学部	113	95	5	1	214	88	118	7	1	214	116	87	11	0	214	118	84	11	1	214	113	86	14	1	214	121	83	8	2	214
	97.2%		2.8%			96.3%		3.7%			94.9%		5.1%			94.4%		5.6%			93.0%		7.0%			95.3%		4.7%		
前年比	▲0.9		-			3.3		-			0.6		-			1.4		-			▲0.0		-			0.4		-		
経営学科	38	31	2	0	71	24	43	4	0	71	35	33	3	0	71	29	37	4	1	71	31	35	4	1	71	40	27	3	1	71
	97.2%		2.8%			94.4%		5.6%			95.8%		4.2%			93.0%		7.0%			93.0%		7.0%			94.4%		5.6%		
前年比	▲1.5		-			3.8		-			2.5		-			3.8		-			2.4		-			1.1		-		
スポーツ マネジメント 学科	45	37	0	1	83	42	40	1	0	83	48	31	4	0	83	53	28	2	0	83	49	29	5	0	83	48	33	1	1	83
	98.8%		1.2%			98.8%		1.2%			95.2%		4.8%			97.6%		2.4%			94.0%		6.0%			97.6%		2.4%		
前年比	1.2		-			3.6		-			0.0		-			1.2		-			▲1.2		-			1.2		-		
国際観光 ビジネス 学科	30	27	3	0	60	22	35	2	1	60	33	23	4	0	60	36	19	5	0	60	33	22	5	0	60	33	23	4	0	60
	95.0%		5.0%			95.0%		5.0%			93.3%		6.7%			91.7%		8.3%			91.7%		8.3%			93.3%		6.7%		
前年比	-		-			-		-			-		-			-		-			-		-			-		-		
芸術学部	86	57	2	0	145	57	76	9	3	145	87	52	5	1	145	87	54	4	0	145	62	62	17	4	145	70	68	5	2	145
	98.6%		1.4%			91.7%		8.3%			95.9%		4.1%			97.2%		2.8%			85.5%		14.5%			95.2%		4.8%		
前年比	8.2		-			13.6		-			7.5		-			14.4		-			6.1		-			10.9		-		
教育学部	89	70	4	0	163	64	86	12	1	163	106	52	4	1	163	88	69	5	1	163	79	70	11	3	163	76	76	10	1	163
	97.5%		2.5%			92.0%		8.0%			96.9%		3.1%			96.3%		3.7%			91.4%		8.6%			93.3%		6.7%		
前年比	0.3		-			▲5.2		-			0.6		-			▲2.8		-			▲5.0		-			▲4.9		-		
大学合計 回答率 88.3%	288	222	11	1	522	209	280	28	5	522	309	191	20	2	522	293	207	20	2	522	254	218	42	8	522	267	227	23	5	522
	97.7%		2.3%			93.7%		6.3%			95.8%		4.2%			95.8%		4.2%			90.4%		9.6%			94.6%		5.4%		
前年比	2.5		-			4.8		-			3.0		-			3.0		-			▲0.6		-			5.5		-		

大阪成蹊大学

2022年3月 卒業時アンケート「DPの修得意識に関するアンケート」

A…そう思う B…ややそう思う C…あまりそう思わない D…そう思わない

経営学部 経営学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
		A	B	C	D	(前年比)	(前年比)		
【ディプロマポリシーに基づく設問】									
確かな専門性	1) 企業や組織における経営資源「人、モノ、カネ、情報」の役割とその活用方法を理解した。	34	36	1	0	98.6%	4.1P	3.46	0.12
	2) ビジネスの仕組みと今後の発展の方向性について理解した。	25	43	3	0	95.8%	6.8P	3.31	0.05
	3) 企業や組織で求められる基礎的な知識、技能（企画・運営、会計、流通、商品開発、管理）を身に付けた。	24	41	6	0	91.5%	2.5P	3.25	▲0.03
	4) 企業や組織で求められる仕事に大学で学んだ知識、技能、考え方を活かすことができる。	30	37	4	0	94.4%	2.6P	3.37	0.12
	5) 顧客のニーズを理解し、それに対応したサービスの提供と改善のための方法を理解した。	34	34	3	0	95.8%	4.0P	3.44	0.12
社会で実践する力	6) データ、社会事象等から課題を発見することができる。	24	42	5	0	93.0%	6.7P	3.27	0.12
	7) データや先行研究を使って課題解決のための対策を考え、それをわかりやすく説明することができる。	24	42	5	0	93.0%	8.1P	3.27	0.14
	8) 課題解決に向けて、積極的にかかわることができる。	29	38	4	0	94.4%	6.7P	3.35	0.22
	9) 課題を解決できるまで、あきらめずに取り組むことができる。	33	36	2	0	97.2%	6.8P	3.44	0.18
協働できる素養	10) 意見の共通点や相違点を整理して、互いの考えを理解するために努力を続けることができる。	30	38	3	0	95.8%	2.6P	3.38	0.11
	11) 企業や組織の中で、自分の役割を理解し、協働することができる。	30	40	1	0	98.6%	4.1P	3.41	0.12
忠恕の心	12) よりよい社会を作るために、何ができるかを考えて、自ら進んで行動することができる。	36	31	4	0	94.4%	1.2P	3.45	0.09

経営学部 スポーツマネジメント学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合 (A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D	(前年比)	(前年比)		
確かな 専門性	1) 企業や組織における経営資源「人、モノ、カネ、情報」の役割とその活用方法を理解した。	34	46	3	0	96.4%	1.2P	3.37	0.01
	2) ビジネスの仕組みと今後の発展の方向性について理解した。	38	44	0	1	98.8%	8.4P	3.43	0.13
	3) 企業や組織で求められる基礎的な知識、技能（企画・運営、会計、流通、商品開発、管理）を身に付けた。	35	41	6	1	91.6%	1.2P	3.33	0.10
	4) 企業や組織で求められる仕事に大学で学んだ知識、技能、考え方を活かすことができる。	38	39	6	0	92.8%	▲ 2.4P	3.39	0.06
	5) 顧客のニーズを理解し、それに対応したサービスの提供と改善のための方法を理解した。	37	41	4	1	94.0%	▲ 1.2P	3.37	0.01
社会で 実践 する力	6) データ、社会事象等から課題を発見することができる。	37	40	5	1	92.8%	7.3P	3.36	0.19
	7) データや先行研究を使って課題解決のための対策を考え、それをわかりやすく説明することができる。	34	43	5	1	92.8%	8.5P	3.33	0.17
	8) 課題解決に向けて、積極的にかかわることができる。	38	40	4	1	94.0%	3.6P	3.39	0.12
	9) 課題を解決できるまで、あきらめずに取り組むことができる。	47	34	2	0	97.6%	2.4P	3.54	0.14
協働 できる 素養	10) 意見の共通点や相違点を整理して、互いの考えを理解するために努力を続けることができる。	47	30	6	0	92.8%	▲ 3.6P	3.49	0.07
	11) 企業や組織の中で、自分の役割を理解し、協働することができる。	43	37	1	2	96.4%	2.4P	3.46	0.07
忠恕の心	12) よりよい社会を作るために、何ができるかを考えて、自ら進んで行動することができる。	45	37	1	0	98.8%	3.6P	3.53	0.06

経営学部 国際観光ビジネス学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D	(A+B)	(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1. グローバル産業及び観光関連産業におけるマネジメント（経営資源の管理と活用）およびビジネス（業務の設計と運用）の仕組みを理解できる。	22	31	7	0	88.3%	-	3.25	-
	2. グローバル産業及び観光関連産業における組織・企業活動の職務を遂行するために必要な専門知識、技能（企画・運営、会計、流通、商品開発）を理解し身につけ、職務に係る問題解決のために専門知識、技能を応用できる。	25	28	7	0	88.3%	-	3.30	-
	1) 企画・運営：事業体の経営に対して実証的な裏付けのある見解を持つことができる。	23	28	9	0	85.0%	-	3.23	-
	2) 会計：資金の流れを把握し、経済活動の結果を貨幣を単位として記録、計算、管理することができる。	20	27	12	1	78.3%	-	3.10	-
	3) 流通：流通過程を設計し、問題解決に資することができる。	17	30	11	2	78.3%	-	3.03	-
	4) 商品開発：顧客のニーズを把握し、満足度の高い商品を提案できる。	24	23	13	0	78.3%	-	3.18	-
	5) 管理：事業体の環境適応性を理解し、適切に組織化できる。	22	26	12	0	80.0%	-	3.17	-
	6) 国際コミュニケーション能力：英語をツールとして使いこなし、言語および文化的背景の異なる相手との関係を築き、グローバル産業や観光関連産業において協働することができる。	29	21	9	1	83.3%	-	3.30	-
3. グローバル産業及び観光関連産業における事業体の環境適応性を理解し、適切に組織化し、システムを有効に活用し、顧客に対するサービスの品質を維持・向上させることができる。	26	24	9	1	83.3%	-	3.25	-	
社会で実践する力	4. 問題課題発見にあたり、必要な情報を収集・分析・活用する。	26	33	1	0	98.3%	-	3.42	-
	5. 問題課題解決に向けて方策を企画・立案することができる。	28	31	1	0	98.3%	-	3.45	-
	6. 課題解決に主体的に取り組む意欲を持ち続け、積極的にかかわることができる。	30	28	2	0	96.7%	-	3.47	-
	7. 諦めずに、最後までやり遂げることができる。	38	22	0	0	100.0%	-	3.63	-
協働できる素養	8. 自己の意見を正確に伝える、他者の意見を聴くなどのコミュニケーションができる。	35	25	0	0	100.0%	-	3.58	-
	9. 社会や企業・組織の中で、協調、協働でき、役割を果たすことができる。	32	28	0	0	100.0%	-	3.53	-
忠恕の心	10. 常に誠をつくし、ひとの立場に立って考え行動することができる。	37	23	0	0	100.0%	-	3.62	-

芸術学部		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1) 芸術・デザインに関する歴史的・理論的な学修に基づいた専門的な知識と理解を有し、これを有効に活用することができる。	71	69	5	0	96.6%	5.5P	3.46	0.21
	2) 描画力、色彩計画、素材知識、構成力、構想力、コンピュータスキルを有し、これを有効に活用することができる	70	71	4	0	97.2%	4.0P	3.46	0.11
	3) 独創性のある新しい造形表現ができる。(表現力)	67	66	11	1	91.7%	▲ 0.1P	3.37	0.15
	4) 実践において専門的技能が発揮できる。(技術力)	58	76	10	1	92.4%	4.0P	3.32	0.13
	5) 様々な知識や技能をいかして作品にまとめられる。(構成力)	61	75	7	2	93.8%	5.4P	3.34	0.22
	6) 作品や企画を社会に対して効果的に発信できる。(プレゼンテーション能力)	42	76	23	4	81.4%	0.6P	3.08	0.06
	7) 論理的な構成の文章で、意図を正しく伝えることができる。(文章表現力)	47	78	18	2	86.2%	8.8P	3.17	0.24
	8) 聞き手の理解を確かめ、対話ができる。(伝える能力)	55	78	10	2	91.7%	8.1P	3.28	0.17
	9) 物事を定量的にとらえ、比較対照できる。(計算力)	40	82	17	6	84.1%	8.8P	3.08	0.19
	10) 自律、自立して学習できる。(学習力)	62	69	10	4	90.3%	4.7P	3.30	0.18
	11) 文化、社会に関する一般的な知識をもち、世の中の事象を理解できる。(知識と理解)	55	78	11	1	91.7%	4.7P	3.29	0.16
社会で実践する力	12) 必要な情報を判断し、収集することができる。(情報収集力)	59	79	6	1	95.2%	4.1P	3.35	0.08
	13) 収集した情報を目的に沿って整理し、その関係性や本質を明らかにできる。(分析力)	54	83	7	1	94.5%	4.8P	3.31	0.12
	14) 課題を解決するための道筋を考え、実践することができる。(課題解決力)	54	84	7	0	95.2%	6.2P	3.32	0.16
協働できる素養	15) 積極的に取り組もうとする態度を身につけた。(主体性)	64	72	8	1	93.8%	13.7P	3.37	0.31
	16) ニーズに基づいて計画的に行動しようとする態度を身につけた。(行動力)	57	78	10	0	93.1%	8.9P	3.32	0.28
	17) 自己の役割を理解し、他者とともに協働しようとする態度と倫理観を身につけた。(協働力)	72	66	5	2	95.2%	5.5P	3.43	0.20
	18) 効果的に意思疎通ができ、状況に即した表現ができる。(コミュニケーション能力)	62	73	10	0	93.1%	8.9P	3.36	0.24
忠恕の心	19) 相手の立場に立って考え、思いやりの心を持って行動することができる。	89	52	4	0	97.2%	3.4P	3.59	0.15

教育学部		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1) 教育に関する幅広い教養（社会教養・教科教養・教職教養・新しい時代の教育知識）や技能（ベーシック・リテラシーおよび専門リテラシー）が身についた。	66	86	11	0	93.3%	▲ 3.1P	3.34	▲ 0.01
	2) 実践を省察しながら授業・保育を設計（デザイン）できる。（実践構想力）	54	93	16	0	90.2%	▲ 1.6P	3.23	0.01
	3) 子どもの尊厳を尊重して共感的に接しながら実践できる。（実践力）	88	70	5	0	96.9%	▲ 0.4P	3.51	▲ 0.09
	4) 協働的な実践の省察を通して実践を基礎づけている枠組みを発見し、新しい実践を提案できる。（実践探究力、新しい教育課題に対応するセンス）	58	100	5	0	96.9%	▲ 0.4P	3.33	▲ 0.01
社会で実践する力	5) 市民として、問題意識、使命感、ヴィジョンを持って、社会に貢献しようとすることができる。	56	95	11	1	92.6%	▲ 1.9P	3.26	▲ 0.01
	6) 主体的・継続的に学びつづける生涯学習の方法と習慣を身につけた。（学び続ける習慣）	69	82	12	0	92.6%	▲ 4.7P	3.35	▲ 0.04
協働できる素養	7) 子ども理解を中心に、多角的な視点から他者や異質なものの理解ができる。	78	79	6	0	96.3%	▲ 1.9P	3.44	▲ 0.12
	8) 他者と協同して、多角的な視点から現代社会の教育課題に対応できる。（新しい教育課題に対応するセンス）	77	80	6	0	96.3%	▲ 1.9P	3.44	▲ 0.06
忠恕の心	9) 常に誠をつくし、ひとの立場に立って考え行動することができる。（共感する心）	89	67	6	1	95.7%	▲ 1.6P	3.50	▲ 0.03